

子どもたち間で、プロミスリングというものがはやっていて、高校生には何年も前から流行していたが、サッカー・Jリーグの開幕以来、人気の選手にあやかって小学生の間にも広まってきた。このリングは多色の糸で編んだ幅1cm程のきれいな紐で、願いをしして手首に結ぶ。それが切れると願いが叶うということである。途中ではずすと効力がなくなるというので、一日中、お風呂に入る時はずさないというのが原則らしい。

昔から、子どもの遊びには流行があり過剰に熱中しすぎると、学校から「禁止令」がでる。ベーゴマ、メンコ、カード集め。今、プロミスリングがその状態にある。学校のプール指導が始まる時期に、急にそのことが問題とされてきた。着けたままプールに入るといことが、不衛生ということらしい。しかし、不衛生ということは何も学校のプールに入る時だけでなく、初めからわかっていたことである。いかにもお役所的な問題のと

り上げ方であった。

禁止のきつかけは、先生の注意に、子ども達が耳を傾けなかったということなのであろう。何故、そこが話し合えなかったのか。カッコイイからしているという子は、はずすことにそれほど抵抗はない。しかし「願かけ」をしている子（特に高学年の女の子）にとっては、そう簡単にははずせない。本気で信じているし、又信じたいと思っている。先生方も子どもの気持ちは大切にしてあげたいという所で、強くは言えなかったようだ。

占いや怪談、心靈現象の大好きな現代の子ども達のはやらせそうな「心」の遊びである。しかし、おまじないはおまじないでしかないということを、学校側はもう少し理性を持って、科学的にとり上げてほしい。気持ちの問題は又、別のことであろう。いみじくもこの小学校の教育の目標は「よく考える子」。自分の頭でよく考え、判断できる子を育てようという目標なのだと思うのだが。 (K)

### 幼児の教育

第九十二巻 第九号  
(一九九三年九月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成五年九月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二―一―

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五―一―二―一

発売所 株式会社 フレーベル館

東京都文京区本駒込六―一四―九

振替口座 東京九―一九六四〇

電話〇三―五三九五―一六六〇四

●本誌御購読の御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。